



# すべては市民、そして市勢発展のため

for the citizens, and for development of city power

## ～2009年、新年に寄せて～

### まずは地域医療の確立、そして経済の活性化



白石市長 風間 康静

新年明けましておめでとうございます

市民の皆さまには、お健やかに新春をお迎えのことと、お喜び申し上げます。

私が2期目の市政を担当させていただいてから1カ月半余りが経過しました。今後4年間のかじ取り役としての責任の重さを感じながら、日々市政に取り組んでいるところです。

昨年6月14日に「岩手・宮城内陸地震」が発生し、栗原市や大崎市などの山間地域に甚大な被害が発生しました。被害を受けた皆さまに心からお見舞い申し上げます。本市では幸い、大きな被害はありませんでしたが、いつ発生してもおかしくない宮城県沖地震に対する備えを、しっかりとやらなければならぬとあらためて感じました。

本市における昨年の一番うれしいニュースは、戦国武将ブームで「片倉小十郎」の人氣が高まり、たくさんのお客が本市を訪ねてくれたことではないでしょうか。昨年10月から12月に開催された仙台・宮城ステイネーションキャンペーン期間中には、県北地域が地震の風評被害で苦戦する中、まるごとうーめんまつりやきものまつり、みちのおとぎフェスタなど、数多くのイベントが開催され、「片倉小十郎」の相乗効果により、多くの観光客で賑わいました。

さらに、10月に実施した鬼小十郎まつりにも、市内外から多くの観光客においでいただき、大成功を取ることができました。また、さまざまな小十郎グッズが登場し、白石城売店の売り上げも大幅に伸びています。本年は、NHK大河ドラマで「天地人」が1年間にわたって放送されることから、舞台となる米沢市との、相乗効果による観光客の増加を図り、小十郎ブームをさらに盛り上げていきたいと思っています。

大変厳しい状況ですが、一層の行財政改革に取り組みながら、「共汗・共学・共生」という理念の下、「4万人都市復活大作戦」の4本柱からなる各種施策を効果的に実施し、市民と共に、人口増に向けてまい進します。白石市、そして市民の輝ける未来のため、精いっぱい取り組んでいきますので、今後とも、ご支援とご協力をお願いします。

部商工観光課内に「企業立地推進室」を新設します。私自身がさまざまな機会をとらえてトップセールスを行うことはもちろん、宮城県をはじめとする関係機関と連携しながら、積極的に取り組み、新工業団地への企業誘致実現を図ります。

極めて深刻なものです。経済回復の見通しが立たない状況の中、税収の伸びが期待できず、地方交付税も年々減少の一途をたどっている反面、歳出面では、扶助費や医療保険費、教育費などの経常経費が増大するばかりです。厳しい状況の中で、本市が抱える「子どもを産み育てやすい環境の整備」、「高齢者の生きがいづくり」、「住みたい・住み続けたいまちづくり」、そして「観光振興による賑わいづくり」など、山積する行政課題に立ち向かわなければなりません。

市民の皆さまにおかれましては、ご家族おそろいで輝かしい新年をお迎えのことと、お喜び申し上げます。また、日ごろより、市議会に温かいご理解と絶大なご協力をいただき、心から感謝申し上げます。



白石市議会議員 佐藤 英雄

市民の皆さま、明けましておめでとうございます

市民の皆さまにおかれましては、ご家族おそろいで輝かしい新年をお迎えのことと、お喜び申し上げます。また、日ごろより、市議会に温かいご理解と絶大なご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

昨年、「4万人都市復活大作戦」を推進する各事業が展開されたことにより、市政の基本理念である「共汗・共学・共生」による豊かなふるさと白石が理解され、南中学校新校舎の完成など、各種事業が実施された大変有意義な年でした。

市議会としても、「議会活性化特別委員会」を設置して、行財政改革の必要性を十分認識し、経費の削減に積極的に取り組みました。また、「地域医療を守る議員の会」を設置し、県知事への陳情をはじめ、市民の安全・安心のための活動も行ったほか、市ホームページ内の「市議

核病院、公立藤田総合病院などとの連携・協力態勢を構築し、市民の皆さまが安心できる地域医療ネットワークを確立します。医療を取り巻く、厳しい環境の中で、一度にすべてを改善することは、たやすいことではありませんが、一歩一歩、着実に前進するよう全精力を傾けますので、市民の皆さまのご理解とご協力をお願いします。

二つ目は、雇用の拡大を図るための工業団地の造成と、企業誘致です。宮城県においては、セントラル自動車などの企業誘致が次々に決定しており、本市でも雇用の拡大を図るべく、昨年、オーダーメイド方式から工業団地の造成へと政策を転換しました。現在、市役所内に関係職員による「工業団地計画推進プロジェクト委員会」を設置し、庁内の連携を図りながら、今春から深谷地区に10ヘクタールの工業団地造成に着手すべく、用地交渉や許認可関係の諸手続きを進めているところです。

一方、昨年9月には、商工会議所、職業安定所、金融機関と行政とが一体となった「企業誘致推進協議会」を設立し、情報の収集と情報交換を積極的に進めています。さらに、企業誘致の積極的な推進と既存企業のサポートを図るため、4月に産業

会のページ」で会議録を公開するなど、議会の活性化と、市民に分かりやすい開かれた議会づくりに努めるとともに、都市計画道路「沖の沢郡山線」事業推進の要望活動など、市民の理解と市政発展に尽くしてきました。わが国の景気動向は、アメリカの不況が全世界に広がった影響で大変厳しくなっています。県全体では自動車関連企業が相次いで進出を決めるなど、明るくなり始めたとはいえ、本市では三位一体改革の影響で厳しい財政運営を強いられています。また、いじめや虐待、飲酒運転の問題などが深刻な社会問題となり、国・地方とも新たな対応が求められています。

変化の激しい社会状況の中で、市議会では、今後とも市政の諸課題に対し、的確かつスピーディーに対応すべく、議員各位のパワーを結集し、さらに議会活性化を推進して市民が「安全・安心に暮らせるまちづくり」にしっかりと対応するため、議員一同決意を新たにしています。市民の皆さまにおかれましては、今後とも格別なご協力とご支援をいただきますようお願い申し上げます。本年も、皆さまにとって幸多き年でありませう、議員一同ご祈念申し上げます。



写真①/地域医療体制の確立が求められる中、地域の拠点病院としての役割を担う公立刈田総合病院  
写真②/昨年4月に登場した市民バスきゃっするくん「小十郎バス」  
写真③/新たに工業団地を造成する深谷地区。地域経済活性化の起爆剤としての役割が期待されます。  
写真④/昨年10月4日に行われた鬼小十郎まつり。3,000人が来場。  
写真⑤/昨年10月19日に中町で行われた「大道芸&鍋食べまくり」